



お知らせ

2025 年 3 月 18 日

AstaReal®アスタキサンチンの補給が 子供たちの目の健康維持に貢献

富士化学工業株式会社（本社：富山県中新川郡上市町、代表取締役社長：西田 洋、以下、富士化学工業）は、この度、自社ブランド「AstaReal®」アスタキサンチンを用いた臨床試験を実施し、就学期の子供たちの目の健康が維持できることを、Springer Nature 社が発行する国際学術誌である『Advances in Therapy』に掲載いたしました。

富士化学工業は微細藻類由来の健康成分である高品質なアスタキサンチンをグローバルブランド「AstaReal®」として製造・販売してまいりました。アスタキサンチンは、強い抗酸化活性を有し、エビ、カニなどの甲殻類の体表やサケ類の筋肉や卵などに含まれる生体防御成分として、また抗老化成分として近年注目されている成分の一つです。

目を酷使用する日常的なスマートフォンや PC 作業後に、目の疲れ、目の乾燥、目の痛み、目の刺激感、ぼやけた視界、頭痛、肩・腰の痛みなどのいわゆる眼精疲労症状が現れることがあり、これらはコンピュータービジョン症候群（CVS）として現在知られています。当社はこれまで、多くの共同研究により、アスタキサンチンの摂取が、特に目の調節機能低下に対する有用性を持つことを多数の臨床試験で明らかにしてまいりました。

しかしながら、これらの臨床試験はすべて成人に対する試験であり、日常生活において勉強や読書、スマートフォンやタブレットの利用などが多く、CVS を訴えやすく、それに伴う視力低下が起こりやすい就学期の子供たちに対する作用は不明でした。

今回の試験は、日常的にスマートフォンやタブレットの利用を 4 時間以上使用し、軽～中程度の CVS を訴える 10 歳から 14 歳の子供たち 64 名を対象に実施しました。

アスタキサンチンを一日当たり 4mg、もしくは比較対照（プラセボ）としてオリーブオイルを含んだカプセルを飲む群にランダムに分け、84 日間摂取していただきました。安全性評価や慢性的な眼精疲労の主観的な評価を行うとともに、一定時間のモニター作業による負荷後の、目の疲れや眼の状態などを評価しました。これらは被検者も測定者もどちらを摂取しているかわからない二重盲検試験と呼ばれる方法で行いました。



お知らせ

2025 年 3 月 18 日

その結果、アスタキサンチン 4mg の摂取は、就学期の子供たちにも安全であることがわかるとともに、慢性的に感じる眼精疲労に関する試験項目については、20%改善していました。さらにモニター作業による負荷後の急性的な眼精疲労に関しても 27%の改善が認められ、ドライアイ（涙液分泌量）、光に対する瞳孔反射や両眼視差なども改善することが明らかになりました。

これらの結果により、「AstaReal®」アスタキサンチンは、就学期の子供たちの目の健康維持に貢献できることがわかりました。

「創造と奉仕」を社是とする当社は、1946 年の創業以来、人々の健康に貢献できる製品をつくりたいとの思いで事業を続けてまいりました。今後も世界の人々の健康に寄与するようチャレンジを続けてまいります。

論文タイトル : Astaxanthin (AstaReal®) Improved Acute and Chronic Digital Eye Strain in Children: A Randomized Double-Blind Placebo-Controlled Trial

雑誌名 : Advances in Therapy

URL: <https://doi.org/10.1007/s12325-025-03125-7>

* 両眼視差 : 左右の目（網膜）に映る像の位置の違いのことを指す。この違いを脳で処理することで、奥行きや立体感を感じることができる。

<本件に関するお問い合わせ先>

富士化学工業株式会社 ライフサイエンス開発本部

Tel 076-472-2323 FAX 076-472-2330

<URL> 富士化学工業株式会社 www.fujichemical.co.jp